

第三回全国高校生政策甲子園  
開催概要

公益社団法人日本青年会議所

国家グループ 主権者意識向上委員会

## 開催概要

### 1. 開催に至る背景

国や社会の問題を自分のことと認識し、様々な情報や意見を公正に評価して自らの考えをまとめ、行動する力を養うことが重要であり、若者全てが自身の行動により社会に影響を与えることができる(政治的有効性感覚)のだと認識できるための教育を行う必要があります。投票率に関しては、OECD 主要国平均で 18~24 歳の投票率が 6 割を超えているのに対して、日本の 18~24 歳の投票率は 2014 年の調査時点で 3 割程度とかなり低い割合となっています。しかし、投票率というのは若者それぞれの主権者意識のレベルの結果でしかなく、問題の本質である政治参画意識の向上をはかっていくために事業を行います。

### 2. ご後援/ご協力

ご後援先： 内閣府、デジタル庁、総務省、文部科学省、子ども家庭庁、  
(後援予定) 東京都、京都府、京都市、福岡県、糸島市、全国高等学校長協会  
ご協力先： 公益社団法人明るい選挙推進協会、選挙割学生実施委員会、株式会社 PoliPoli

### 3. 開催時期

書類審査		2025 年 6 月下旬
地区予選大会		2025 年 7 月下旬
東日本大会	東京都庁	2025 年 7 月 24 日(木)
西日本大会	京都府旧議事堂	2025 年 7 月 27 日(日)
九州沖縄大会	福岡県糸島市議会場	2025 年 7 月 26 日(土)
決勝大会	国会議事堂	2025 年 8 月 25 日(月)

※各種大会への交通費等については、実費負担となりますのでご注意ください。

※書類審査を通過された方は、地区予選大会用のパワーポイントの作成が必要となります。

※地区予選大会を通過された方は、決勝大会用のパワーポイントの作成が必要となります。

#### 【参考】地区予選大会の都道府県分類

分類	都道府県数	地区名	都道府県数	都道府県詳細
東日本	20	北海道	1	北海道
		東北	6	青森県、秋田県、岩手県、山形県、宮城県、福島県
		関東	8	東京都、栃木県、群馬県、埼玉県、茨城県、千葉県、神奈川県、山梨県
		北陸信越	5	新潟県、富山県、石川県、福井県、長野県
西日本	19	近畿	6	京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県
		中国	5	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
		東海	4	静岡県、岐阜県、愛知県、三重県
		四国	4	香川県、愛媛県、徳島県、高知県
九州沖縄	7	九州	7	福岡県、大分県、佐賀県、熊本県、長崎県、鹿児島県、宮崎県
	1	沖縄	1	沖縄県
合計	47	10 地区	47	

### 4. 募集期間

2025 年 4 月 1 日(火)~6 月 15 日(日)

## 5. 募集対象

国政に関心をもつ高校生であれば、どなたでもご応募が可能です。

※ 応募作品には分析と提案に加え、提案内容を実行する又は協力や助言を行う主体(応募者自身、各種機関、民間企業、学校等)や、応募時点の相談、調整状況等を盛り込むことが可能です。

※ 3～5名のグループでの応募をお願いします。学校、クラス、部、その他グループでの応募が可能です。  
また、学校をまたいだグループでの応募も可能です。

## 募集政策内容

### 1. 募集政策

日本の現状、課題について分析し、そのうえで解決策となるような政策アイデアをご提案ください。日本全体を視野に未来をよりよく変えていく、創意あふれるご提案をお待ちしております。

今回募集する政策は設定テーマ部門と自由設定部門の2部門となります。

#### ① 設定テーマ部門

[未来の日本を創造する！持続可能なデジタル政策！]

少子高齢化の進行により、我が国の生産年齢人口（15～64歳）は1995年をピークに減少しており、2050年には5,275万人（2021年から29.2%減）に減少すると見込まれています。総務省が行った調査では、生産年齢人口の減少、地域経済の縮小、災害の激甚化など、今後我が国において様々な社会的・経済的課題が深刻化することが見込まれる中で、それらの課題に対応していくためには、労働生産性の向上、労働参加の拡大、地域活性化などに向けた取り組みなどにより社会全体の変革を図っていくことが必要とされています。また、これらの取り組みを進める上で、ICTが地方創生ひいては社会課題解決の一翼を担うものとされています。若者だけでなく国もデジタル政策が重要であると考えていることがわかります。若者が現在直面している課題や、将来予測され環境についての視点は、未来の政策に大きな影響を与えます。将来を担う若者だからこそ、今の時代に必要なデジタル政策に新しい視点や発想で政策を考えていただく機会となると考え、本テーマを設定しました。

#### ② 自由設定部門

[あなたは総理大臣！！地域の社会課題と明るい未来！]

若者の低い投票率の現状を鑑み、より投票率の高い国政選挙の結果から、皆様が身近に感じることできる地域の社会課題を解決するための政策を考えていただきます。皆様には、日本の総理になったときにどんな未来を築きたいか自由な発想で政策を描いていただきたいと考え、本テーマを設定しました。

※上記2部門からどちらかを選択し、応募してください。なお、両部門へのエントリーも可能です。

## エントリー方法及び政策提出方法

### 1. エントリー方法及び政策提出方法

エントリー方法及び政策提出方法については、HP や SNS に掲載されている以下の Google アンケートフォーム から提出いただきます。また、本年度の政策提出方法については、ワークシートを作成いただき Google アンケートフォームより提出していただきます。

(<https://forms.gle/QmzWWAKUDAane6GD7>)

### 2. エントリー方法及び政策提出期日

2025 年 4 月 1 日 (火) 0 時 00 分 ~ 2025 年 6 月 15 日 (日) 23 時 59 分

### 3. エントリー方法及び政策提出フォーム内容

Google アンケートフォームの質問内容については、以下の通りとなります。(「※」は必須項目)

チーム名 ※

学校名(代表者の所属学校) ※

代表者名(漢字) ※

代表者名(フリガナ) ※

代表者連絡先(電話番号) ※

代表者連絡先(メールアドレス) ※

メンバー②(漢字) ※

メンバー②(フリガナ) ※

メンバー③(漢字) ※

メンバー③(フリガナ) ※

メンバー④(漢字)

メンバー④(フリガナ)

メンバー⑤(漢字)

メンバー⑤(フリガナ)

(1) 選択テーマ(どちらかを選択してください) ※

① 設定テーマ部門 [未来の日本を創造する! 持続可能な経済政策!]

② 自由設定部門 [私が変わる! 私たちの住む地域の社会課題と明るい未来!]

(2) 政策タイトル(50 文字以内) ※

(3) 政策の概要(400 文字以内) ※

(あなたの政策を教えてください)

(4) 政策を思いついた背景及びきっかけ(800 文字以内) ※

(なぜ、この政策を提言しようと思ったのか? あなたが変えたいと思う社会課題の現状を分析のうえ、なぜこの社会課題を選択したのかご記載ください)

(5) 実現する社会(1200 文字以内) ※

(あなたの政策が社会にどのような影響を与え、どのような社会を目指すのかご記載ください)

(6) 自由利用シート(任意)(自由に使用ください。)

# 大会概要と審査基準

## 1. 書類審査

期間：2025年6月16日(月)～2025年6月30日(月)

書類審査通過チームは、地区予選大会への進出チームとして決定いたします。

※別途、各地青年会議所が主催する地方大会が開催される場合は、進出チーム数が追加される可能性があります。

### ① 書類審査方法及び審査基準

書類審査の審査員は、一人あたり25点として4人(合計100点)で、審査を実施します。

審査基準となる項目分類と点数配分は、以下の通りです。

点数配分	分類	審査基準(一次審査)
5	1. 基礎	的確な現状分析を行っているか。
		データや引用における出所を明記しているか。
5	2. 調査・分析	対象の先行する取り組みを調査・分析しているか。
		先行する類似事例を調査・分析しているか。
		提案する政策についてデータを活用した検証が行われているか。
		官民連携、民間事業主体等を巻き込んだ調査、分析や政策提案が含まれているか。
5	3. データ活用	伝えたいことに応じて適切なデータを選択しているか。
		複数のデータを活用した分析ができているか。
5	4. 内容の論理性	テーマに対する論理性が優れているか。
		分析したデータを踏まえた政策となっているか。
		データの検証を基にした有効性の高い政策となっているか。
		テーマに対する独創性、オリジナリティーが優れているか。
5	5. 訴求力	政策実現後の夢と希望のある未来を具体的にイメージすることができているか。
		伝えたい政策、メッセージの構成が確りとされているか。

### ② 書類審査通過チーム数

東日本地区予選大会：2部門各10チーム 計20チーム

西日本地区予選大会：2部門各10チーム 計20チーム

九州沖縄地区予選大会：2部門各6チーム 計12チーム

書類審査通過チーム数 合計52チーム

## 2. 地区予選大会

書類審査を通過されたチームは、地区予選大会に出場していただくことが可能となります。

地区予選大会		開催日
東日本大会	東京都庁	2025年7月24日(木)
西日本大会	京都府旧議事堂	2025年7月27日(日)
九州沖縄大会	福岡県糸島市議会議場	2025年7月26日(土)

※書類審査を通過された方は、地区予選大会用のパワーポイントの作成が必要となります。

※地区予選大会を通過された方は、決勝大会用のパワーポイントの作成が必要となります。

① 書類審査方法及び審査基準

提出資料ならびに当日の演説、有識者からの質疑応答をもとに審査を行います。

地区予選大会及び決勝大会は、各政党に審査員としての参加を依頼し、有識者 10 名、日本青年会議所役員 2 名が、審査員となり審査を実施します。

審査員一人あたり 25 点として、12 人(25 点×12 人=合計 300 点)を基本的な審査手法とします。

ただし、当日に審査員が欠席された場合等の場合においては、合計点数を調整して対応します。

審査基準となる項目分類と点数配分は以下の通りです。

点数配分	分類	審査基準(一次審査)
5	1. 基礎	的確な現状分析を行っているか。
		データや引用における出所を明記しているか。
		読み手を意識した理解しやすい資料になっているか。
		スライド枚数は 5 枚以上となっているか。
5	2. 調査・分析	対象の先行する取り組みを調査・分析しているか。
		先行する類似事例を調査・分析しているか。
		提案する政策についてデータを活用した検証が行われているか。
		官民連携、民間事業主体等を巻き込んだ調査、分析や政策提案が含まれているか。
5	3. データ活用	伝えたいことに応じて適切なデータを選択しているか。
		複数のデータを活用した分析ができているか。
		データやグラフ表現等の可視化を工夫しているか。
5	4. 内容の論理性	テーマに対する論理性が優れているか。
		分析したデータを踏まえた政策となっているか。
		データの検証を基にした有効性の高い政策となっているか。
		テーマに対する独創性、オリジナリティーが優れているか。
		政策実現後の夢と希望のある未来を具体的にイメージすることができているか。
5	5. 訴求力	伝えたい政策、メッセージの構成が確りとされているか。
		資料のビジュアルが工夫されているか(インパクト、見易さ等)。
		話し方に聞き取り易さがあるか。
小計 25 点(1 人当たり)		

(黄色網掛け項目が書類審査の基準に追加された項目となります。)

② 地区予選大会通過チーム数

東日本地区予選大会：各部門上位 3 チーム計 6 チーム

西日本地区予選大会：各部門上位 3 チーム計 6 チーム

九州沖縄地区予選大会：各部門上位 2 チーム計 4 チーム

地区大会通過チーム数 合計 16 チーム

### 3. 決勝大会

開催日：2025年8月25日(月)

開催場所：国会議事堂

#### ① 書類審査の方法及び審査基準

提出資料ならびに当日の演説、有識者からの質疑応答をもとに審査を行います。

地区予選大会と同様に決勝大会は、各政党に審査員としての参加を依頼し、有識者10名、日本青年会議所役員2名が、審査員となり審査を実施します。

審査員一人あたり25点として、12人(25点×12人=合計300点)を基本的な審査手法とします。

ただし、当日に審査員が欠席された場合等の場合においては、合計点数を調整して対応します。

審査基準となる項目分類と点数配分は、地区予選大会と同様の内容となります。

決勝大会では、当日、ご参加いただく審査員にその場で審査を行っていただきます。

また、インターネット(HPやラインアット)を活用した国民投票を実施します。

決勝大会の得点数を考慮せず、国民投票の投票数の多いチームを最優秀賞といたします。

最優秀賞2チーム(各部門ごと)を決定し、各部門の最優秀賞チームには、総理大臣及び所管大臣、所管省庁(最優秀賞受賞チームの政策内容を所管する大臣及び省庁)への政策報告会を開催させていただきます。

[国民投票(インターネット投票)期間]

2025年9月1日(月)~2025年9月20日(土) 計20日間

LINEアカウント:<https://liff.line.me/1645278921-kWRPP32q/?accountId=705lepyr>

下記LINEアカウントから投票数を募ります。



## 表彰について

### 1. 設定テーマ部門

[日本の未来を創造する！持続可能なデジタル政策！]

特別賞	日本青年会議所 会頭賞	(決勝大会当日に表彰)	1 チーム
特別賞	日本青年会議所 副会頭賞	(決勝大会当日に表彰)	1 チーム
最優秀賞	国民投票のみによる審査	(国民投票後に表彰)	1 チーム

### 2. 自由設定部門

[あなたは総理大臣！！地域の社会課題と明るい未来！]

特別賞	日本青年会議所 会頭賞	(決勝大会当日に表彰)	1 チーム
特別賞	日本青年会議所 副会頭賞	(決勝大会当日に表彰)	1 チーム
最優秀賞	国民投票のみによる審査	(国民投票後に表彰)	1 チーム

両部門において、最優秀賞に表彰されたチームは、それぞれの提言を行った政策テーマを所管する大臣または関係省庁にて政策報告会を実施いたします。なお、書類審査通過チームには、成績に応じて大会成績証明書を発行いたします。

# CERTIFICATE

## 大会成績証明書

チーム名 :  
メンバー :  
部門 :  
大会名 : 第三回全国高校生政策甲子園  
成績 :

上記の者は 2025 年●月●日 ●●●●●にて  
開催されました、第三回全国高校生政策甲子園において、  
頭書の成績を収められたことを証明いたします。

2025 年●月●日 発行  
公益社団法人日本青年会議所  
会 頭 外 口 真 大

ご後援先 : 内閣府、デジタル庁、総務省、文部科学省、子ども家庭庁、文化庁、  
東京都、京都府、京都市、福岡県、福岡市、全国高等学校長協会  
ご協力先 : 公益社団法人明るい選挙推進協会、選挙割学生実施委員会  
株式会社 PoliPoli

## お問い合わせ先

1. 主催 : 公益社団法人日本青年会議所 国家グループ 主権者意識向上委員会
2. 大会 HP : <https://www.jaycee.or.jp/seisakukoshien/>  
※大会 HP でも、本大会へのエントリー方法や大会概要について説明しておりますので、  
ご参照ください。
3. お問い合わせ先 : 委員長 金本 純一  
副委員長 木下 雅斗  
E-mail [seisakukousien03@gmail.com](mailto:seisakukousien03@gmail.com)

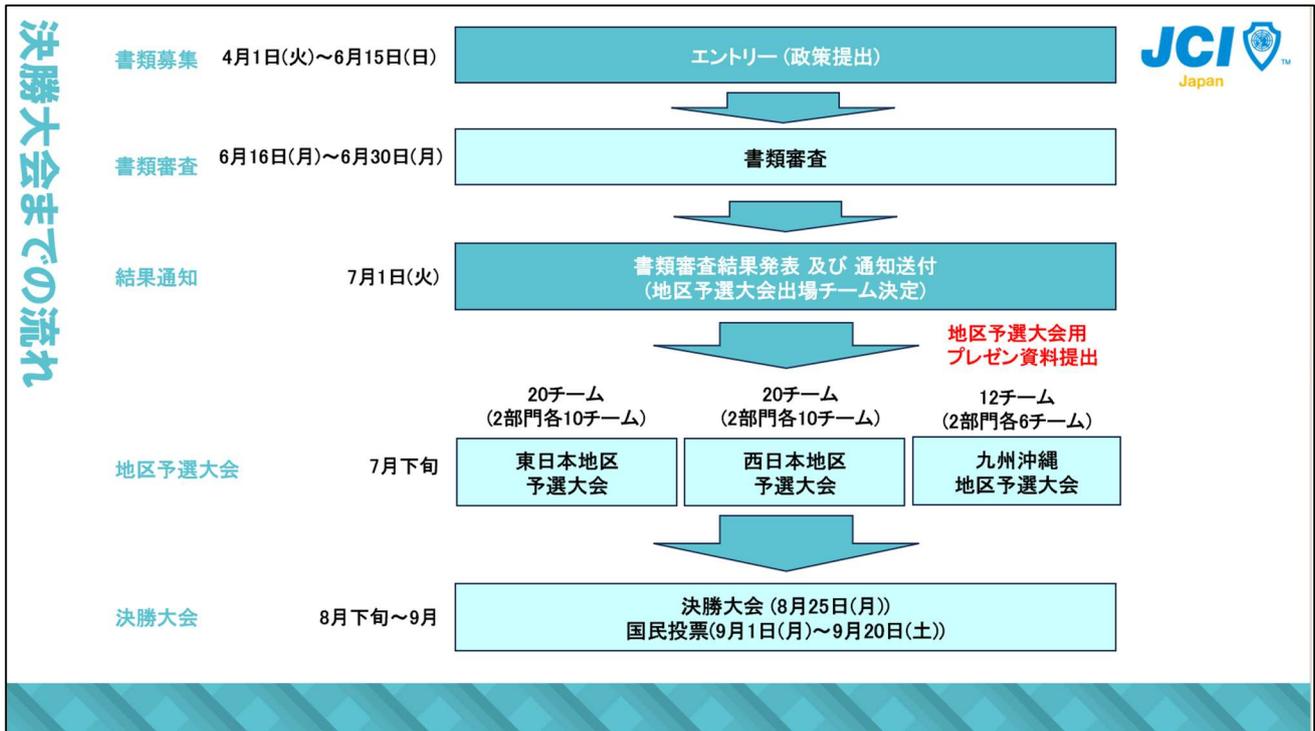
以上

## 参考資料

### 1. 第三回全国高校生政策甲子園全体フロー

JCI Japan									
10月～12月	1月～3月	1月～3月	4月1日(火) ～ 6月15日(日)	6月16日(月) ～ 6月30日(月)	7月1日(火)	7月下旬	8月下旬～ 9月20日(土)	9月	10月
協力団体	広報開始	参加依頼	書類審査 募集	書類審査	書類審査 結果通知	地区予 選 大会	決勝大会	受賞者 政策発表	表彰 政策報告
協力団体募集	HP開設・チラシ配布	学校への挨拶回り  ブロック各LOMへ推薦願	募集期間(4月1日～6月15日)	書類審査(有識者、委員会メンバー)	メールにて結果通知	九州沖縄 西日本 東日本  20チーム(地域大会優勝チーム) 20チーム(地域大会優勝チーム) 12チーム(地域大会優勝チーム)	会頭賞、副会頭賞発表(決勝大会当日) 決勝大会(8月25日(月)) 国民投票(9月1日～9月20日)	特別賞発表(各テーマチームずつ)	総理大臣、所管大臣、所管省庁へ政策報告会

### 2. 決勝大会までの流れ



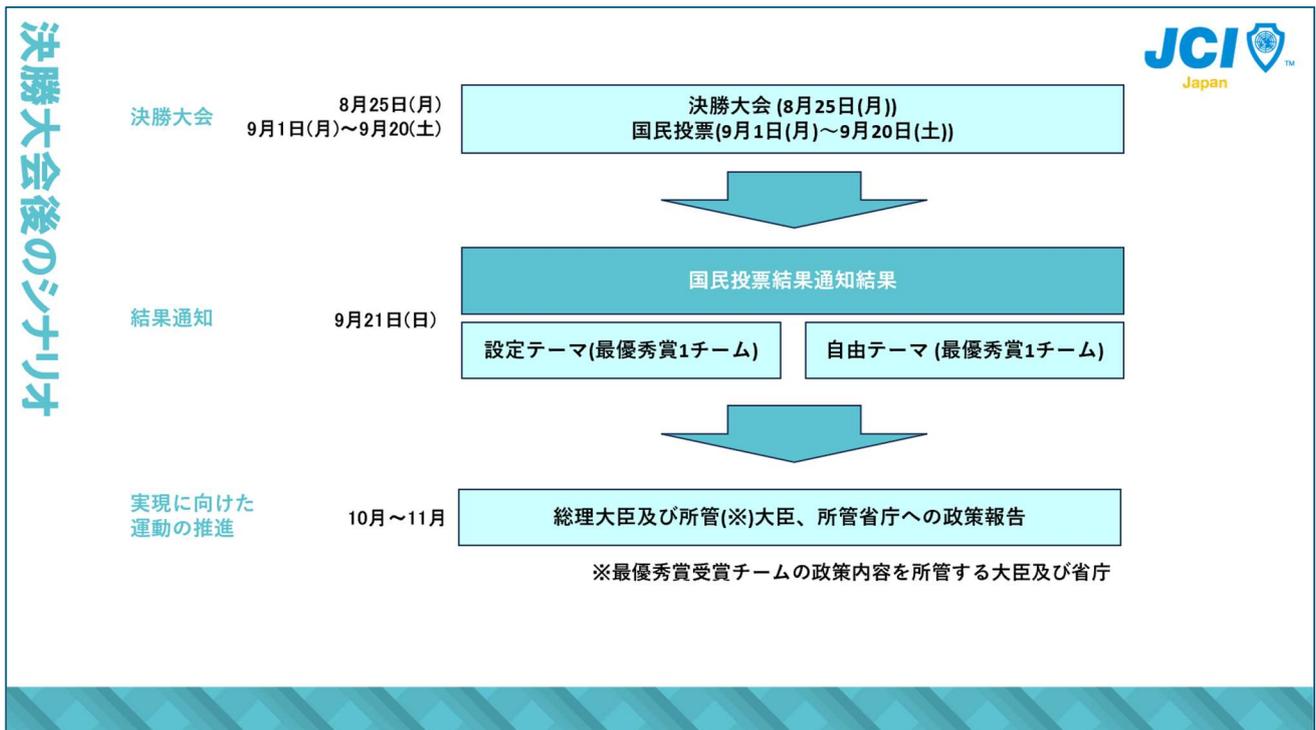
### 3. 地区大会予選

地区予選大会	東日本地区予選大会	西日本地区予選大会	九州沖縄地区予選大会
会場	東京都議会議事堂	京都府議会旧議場	糸島市議会会場
時期	2025年7月24日(木)	2025年7月27日(日)	2025年7月26日(土)
参加チーム	20チーム (2部門各10チーム)	20チーム (2部門各10チーム)	12チーム (2部門各6チーム)
決勝出場チーム	6チーム (2部門各3チーム)	6チーム (2部門各3チーム)	4チーム (2部門各2チーム)
審査員	各政党に審査員としての参加を依頼し、 有識者10名、日本青年会議所役員2名で審査を実施		
発表方法	演説		

### 4. 決勝大会

	決勝大会
会場	国会議事堂(2023年度、2024年度実績は国会議事堂)
時期	2025年8月25日(月)
参加チーム	16チーム(2部門各8チーム)
審査員	【当日】各政党に審査員としての参加を依頼し、 有識者10名、日本青年会議所役員2名で審査を実施  【後日】国民投票及びネット投票
発表方法	演説
表彰	① 当日発表 日本青年会議所 会頭賞(特別賞) 2チーム(各部門に1チームずつ) 副会頭賞(特別賞) 2チーム(各部門に1チームずつ) ② 後日発表(国民投票 9月1日(月)~9月20日(土)) 最優秀賞 2チーム(各部門に1チームずつ)
政策報告会	最優秀賞2チーム(各部門1チームずつ)

## 5. 決勝大会後のシナリオ



以上